

かけはし



発行：峡南教育事務所地域教育支援スタッフ 所在地：南巨摩郡富士川町鞆沢771-2

TEL：0556-22-8154 FAX：0556-22-8144

HPでカラー版が御覧になれます。URL <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-mk/index.html>

☆☆ 峡南地域教育推進連絡協議会（地推協）とは？ ☆☆☆

地推協は、平成10年の中教審答申と同12年の教育改革国民会議提案により翌13年にスタートした地方教育連携推進のための組織です。峡南地域では、平成17年に正式発足し、町教育委員会・小中学校、県立学校、PTA、幼稚園、保育所(園)、社会福祉関連機関など、各機関の子どもと地域教育に関わるリーダー52名の委員により構成されています。峡南地域最大の連絡協議会です。

異校種連携や地域関連の事業等を幅広く推進する母体となっており、事務局は県の教育事務所から平成22年度に各町教育委員会へ移管され、より地域に密着した積極的な事業展開が図られています。

かけはし128号の紙面

- p1 地推協とは？・人権講演会
文科省大臣表彰受賞身延町立図書館
- p2 連載特集『峡南地域の食材』No.1
- p3 ことぶき勸学院2年教室
保小中連携防災教室・海洋道中
- p4 異校種間連携・お知らせ

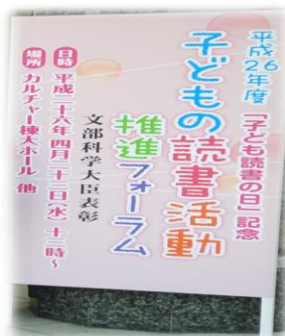
平成26年度 地推協総会 及び 人権講演会のお知らせ

平成26年7月11日(金)、峡南地域教育推進連絡協議会総会の開催にあわせ、峡南教育事務所が主催する「人権講演会」を今年度も実施いたします。学校や社会教育に関わる方々の研修の場とし、広く社会における人権問題への意識の高揚を目指しています。今年度は、出産・育児・看護などの高度な専門知識をもち、女性や子どもの心身の健康を守るために、献身的、精力的に、様々な活動の中心的役割を果たしてこられた、山梨県立大学の伏見正江教授をお迎えし、「女性と子どもの健康と人権」について御講演をいただきます。多くの方々の御参加をお待ちしております。

お問い合わせは峡南教育事務所までお願いします。

- ◆期日：平成26年7月11日(金) ◆会場：身延町総合文化会館
- ◆日程：地推協総会 午後2:00～3:00(1Fｽﾀｰｲｰﾙｰﾑ) 人権講演会 午後3:15～4:40(2F会議室)
- ◆講師：山梨県立大学看護学部教授 伏見正江 先生 ◆演題：「女性と子どもの健康と人権」

文部科学大臣表彰受賞 身延町立図書館



文部科学省では、子どもが自ら読書活動を行う意欲を高める活動について、優れた実践を行っている図書館、学校、団体を、4月23日の「子どもの読書の日」に毎年表彰しています。身延町立図書館は、平成26年度子どもの読書活動の優秀実践図書館として、文部科学大臣表彰を受賞いたしました。



★★連載特集 『峡南地域の食材』No.1

南部町「たけのこ」と「食改さん」



1 南部町の自然環境と「たけのこ」

南部町は静岡県から山梨県に至る玄関口で、森林の割合が多く、豊かな自然と温暖多湿の気候で「たけのこ」の成長に適し、名産になっています。南部町たけのこ祭りが、毎年4月中旬に町をあげて南部町役場前で開催され、多くの観光客が訪れています。

2 南部町食生活改善推進委員会による活動

「食改さん」の愛称で知られる食生活改善推進員は、生涯の健康づくり活動について、「食」を通して地域住民の健康づくりを推進するボランティアです。健全な食生活を実践すること、食事バランスガイドの普及・地産地消・郷土料理や行事食、食文化の継承等、食育を捉え、地域のリーダーとして健康づくり活動を進めています。

食生活改善推進員になるには？
町が主催する養成講習会（42時間）を修了した方が終了証の交付を受け、町長から委嘱されます。

昭和34年度、山梨県身延保健所において、県下にさきがけ「栄養改善協力員養成講習会」が実施されました。これにより、旧富沢町では昭和40年に、旧南部町では昭和42年に栄養改善協力員会が組織化されました。以来、「私達の健康は私達の手で」をスローガンに、栄養協力員、栄養改善推進員、食生活改善推進員と時代の流れとともに名称を変更し、組織的に、継続的に諸活動を実践してきました。その後、平成15年3月の2町合併後は同会も合併し、「南部町食生活改善推進員会」として一本化し、10周年を迎えました。

3 南部町食生活改善推進員会 10周年誌

10周年を記念し、地域食材の健康料理レシピ集である、「南部町食生活改善推進員会 10周年誌」を発行、南部町全家庭に配布し健康増進を図っています。



健康料理レシピ集表紙



10周年誌編集委員長 兼
南部町食生活改善推進員会
初代会長 遠藤知子 様



平成26年度南部町
食生活改善推進員会
会長 近藤登美 様（右→）
副会長 望月明美 様（←左）

4 「南部町食生活改善推進員会 10周年誌」の「たけのこ料理」レシピより



淡竹の煮物



たけのこ金平



富沢こわめし



たけのこ・
山菜天ぷら

HPでカラー版が御覧になれます。

<http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-mk/index.html>

ことぶき勸学院2年教室

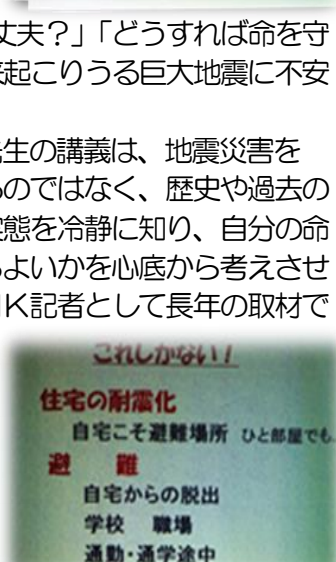
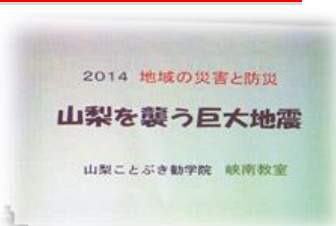
「地域の災害と防災」 林 晏宏 先生

「想定外」「まさか」なし！ 自分の身は自分で

東海地震は、いつ起こっても不思議ではないといわれています。「震度7に襲われると何が起きるのか」「直下型地震とはどんな地震

？」「うちのあたりは大丈夫？」「どうすれば命を守れるのか」・・・近い将来起こりうる巨大地震に不安は尽きません。

5月13日の林晏宏先生の講義は、地震災害を「勇気」として考えるのではなく、歴史や過去のデータの事実からその実態を冷静に知り、自分の命を守るためにどうしたらよいかを心底から考えさせられる講義でした。NHK記者として長年の取材で得た細かなデータの蓄積をもとに、山梨の地形・地質の特徴を、豊かな映像で現在の姿と過去の災害の史実と結びつけて示してくださいました。「私達は災害に関する正確な情報を知る権利がある」「正確な情報を知った上でどう行動するかは自分の問題だ」というスタンスから、緊張感に満ちた講義となりました。



保小中合同による引き渡し訓練

5月30日（金）午後3時10分、東海地震警戒宣言の発令を受け、常葉保育所・下部小学校・下部中学校の幼児・児童・生徒が、学校の校庭中央に避難しました。上学年の子どもが下学年の子どものもとに移動し、一家庭ずつ並び直しました。そして、引き取り者が自分の子どもの横に入り、学校職員のチェックカードによる確認を受けながら、子どもを引き取っていきました。道路の寸断等により引き取り者が学校に来られない場合、児童生徒が学校待機となる状況が想定されるため、学校職員の体制を整えたり、水や食料の十分な確保に努めたりしているそうです。様々な状況に応じて、柔軟かつ適切に対応できるように日頃から十分な備えをしておくことが大事であることをこの訓練を見て改めて感じました。



八丈島・でっかい体験2014

フロンティア・アドベンチャー

「やまなし少年海洋道中」参加者決定

6月1日(日)に「やまなし少年海洋道中峡南地区抽選会」が、中富総合会館で行われ、峡南地域では男子5名、女子5名の参加者が内定しました。県全体での今年度の参加応募者数は67名でした。

参加定員は50名で、男子25名、女子25名を例年募集しています。H26年度応募者数の内訳は、男子47名、女子20名でした。県全体の抽選倍率は、男子1.57倍、女子1倍となり、応募したにもかかわらず希望に添えなかった男子が出てしまいました。会場を去る後ろ姿が印象的でした。残念ではありますが、是非、その前向きな意欲を学校や地域で発揮してほしいと思います。

さて、この海洋道中は県の事業として今回で27年目を迎えています。地元・八丈島の方々に支えられています。また、指導を補助してくれる5人のボランティアリーダーは、かつてのこの事業へ参加した大学生等が務めています。伝統と多くの人々の協力のもと、この海洋道中は、輝きあられる体験の場となることでしょう。

今年は、8月1日～9日(8泊9日)の日程で行われます。洋上体験(船での寝食・クルージング・外洋観察等)や自然体験(キャンプ生活・スノーケリング・野外炊事・サバイバル踏破・ピバーク等)、交流体験(八丈島の小中学生との交流)等々、八丈島を思い切り満喫します。さらに、体験活動を通して、友情・連帯・自主の精神を育み、学校・地域のリーダーとして豊かな力量を身に付けることを目指します。参加する皆さんの実りある研修を心から期待します。



本抽選前の緊張の瞬間！

南部町立 富河小学校

わかば支援学校ふじかわ分校

vs 富士川町立鰺沢中学校

富河小学校（望月正宏校長）では、5月24日（土）に「三世代交流会」を行いました。目的は、大きく分けて4つあります。①相互の交流の場とする②昔から受け継がれてきた知恵を学ぶ③相互に協力して活動することで、学習態度の高揚を図る④つながりを深め、学校に対して親しみを感じていただくです。地域の方々や祖父母、保護者を講師に招き、それぞれの学年で、交流します。27年続くこの交流会も、毎年多くの方々を支えられ、たくさんの学びがあります。内容は以下の通りです。

- 1,2年・・・昔の遊び
- 3年・・・紙ひも細工
- 4年・・・布ぞうりづくり
- 5年・・・お手玉づくり
- 6年・・・はた織り



お手玉づくりに夢中！

「地域の子は、地域で育てる。」温かな地域の方々で囲まれ、子ども達もすくすくと成長しています。

その後、平和活動を行っている伊豆市の妙蔵寺37代目住職、佐治妙心さんによる自作の紙芝居「さくらの祈り」の朗読会がありました。戦争の悲惨さ、命の尊さを伝えてくれました。



佐治さんと記念撮影！



息の合ったサクソ演奏

わかば支援学校ふじかわ分校（星野浩章校長）と富士川町立鰺沢中学校（依田智校長）は、中学校の総合体育大会の日に合わせ、ふじかわ分校の中学部の生徒と鰺沢中学校の吹奏楽部の生徒との交流会を行っています。

鰺沢中学校の吹奏楽部のメンバーの演奏を聴き、音に合わせて手拍子等、身体表現をする生徒が現れるほど素敵な発表でした。

第2ラウンドは、いよいよもう一つの総合体育大会「紙テープ綱引き」です。個人戦は、ふじかわ分校の勝利。団体戦は、5対4の僅差で鰺沢中学校の勝利でした。

今年も心温まるひとときを過ごすことができました。吹奏楽部の志村明香部長は、「演奏を熱心に聴いてもらえるし、ゲームでの交流もありとても楽しい会なので来年も是非続けてほしい。」と笑顔で話してくれたのが印象的でした。



熱戦の様子（もう一つの総体）！

異校種連携・地域連携に関わる行事一覧冊子の発行

峡南地域管内の保育所(園)、小中学校、県立学校、さらには関係機関の御協力により例年発行している次の2種類の冊子の26年度版ができあがりました。御協力ありがとうございました。このふたつの冊子では、異校種連携や地域連携に関わるさまざまな行事を数多く紹介しています。是非、各地域社会や子どもたちのために多くの場面で有効活用されるようお願い申し上げます。

- (1) 『峡南地域における異校種や地域連携に係る各所(園)、各校の行事予定(上半期分)』
- (2) 『平成26年度峡南地区「地域教育推進」に係る関係機関の施策・行事年間計画一覧』

お知らせ	学校名・電話番号	行事名	期 日
	増穂商業高校	一日体験入学	6月21日(土)
市川高校	龍膽祭(学園祭)	6月25日(水)～26日(木) 一般公開なし	
	オープンスクール1回目	7月5日(土)	
身延高校	身高祭(学園祭)	7月2日(水)～4日(金) 一般公開なし	
峡南高校	学校周辺清掃活動	7月14日(月) 雨天延期17日(木)	
	本栖湖周辺清掃活動	7月24日(木)	
身延山高校	学校説明会	6月30日(月)・7月25日(金)	
	宿坊体験	7月25日(金)～27日(日)	
わかば支援学校ふじかわ分校	オープンスクール	6月24日(火)	